

今年も全力で

頑張ります

市長 岡村 幸四郎



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成23年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年の本市を一言で申し上げますと、まさに「川口文化ここにあり」と言える大変誉れ高い一年でした。そのひとつが、川口総合文化センター・リリア開館20周年を記念して開催した、県内初となる世界最高峰のオーケストラ「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」川口公演であり、これに合わせて開催したウィーン楽友協会所蔵のモーツァルト・ベートーヴェン・シューベルトの自筆譜などゆかりの品々を展示した資料展には、全国から8千人にも及ぶ方々が来場され、資料の世界的な文化的価値もさることながら、世界の大都市以外では本市だけで実現できましたことも、大変名誉なことでした。

また、本市出身の国際的演出家である蜷川幸雄氏が、伝統ある文化勲章の受賞の栄誉に輝きました折り、「川口に生まれ育って今の自分がある」とおっしゃられたことは、本市にとりまして大変光栄であり、これを記念して川口市民栄誉賞を創設し、その第一号を市民の心として贈呈させていただきました。

川口市が、こうした文化性豊かなまちとして発展を続けておりますのも、川口のまちづくりに取り組んでこられた皆様のご尽力の賜物であり、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年も、依然として厳しい社会経済状況が予測されますが、本市として年末年始から年度末に向け、13億円規模の緊急の景気対策や制度融資の金利引き下げなどを行い、中小企業の経営の安定を応援しております。また、大詰めを迎

える鳩ヶ谷市との合併協議では、県南地域の将来を見据え、新たなまちづくりにしっかりと取り組んで参ります。さらに、平成18年のあの悲惨な交通事故以来積年の課題でありました、全国初となる面的規制を含めた生活道路最高速度30km規制を、平成23年度の早期に実施いたしますとともに、神根・赤山地域の豊かな歴史と自然を活用した仮称赤山歴史自然公園等の整備に向けた検討を進めるなど、お預かりした税金をいかに無駄なく有効に活かし、市民の皆様のご期待にこたえていくかということに念頭におき、今年も全力を傾注して参りますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

結びに、どうか新しい年が、市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

市民生活の安定と将来を見据えたまちづくりの推進を

議長 岩澤 勝徳



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。市議会を代表いたしまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市議会におきまして、中小企業の振興を通じて市民の生活の維持、向上を実現するため、3月市議会定例会において、議員提案で初の政策条例である「川口市中小企業振興条例」を可決、成立させたところでございます。

また、議会改革小委員会等において、議法定例会での一般質問形式を従来の一括質問一括答弁方式に加え、一問一答方式等の実施やインターネット中継導入に向け鋭意討議を重ね、市民の皆様信頼

される開かれた議会を目指し、議会運営に努めているところでございます。

さて申し上げるまでもなく、本格的な地方分権の進展に伴い、地方自治体の自己決定、自己責任が求められているなか、自治体が処理する事務は今後さらに増大することが予想され、市、自らが決定し、責任を負う姿勢がこれまで以上に求められております。

このような時こそ、市民生活の安定と将来をしっかりと見据えたまちづくりの推進が強く望まれており、そのためには議会と行政が車の両輪として、それぞれ役割を確実に果たしていかねばなりません。

こうした中で、地方自治における二元代表制の一翼を担う議会としては、活発な議論を通じ、市政のチェック機能を充

実させるとともに、政策立案能力を向上させ、住民ニーズを的確に反映した市政の実現に努めて参りたいと存じます。

新年を迎えるにあたり本市議会といたしまして、なお一層、市民の皆様への負託に応えるべく、議員一丸となつて積極的な議員活動を展開し、議会機能の充実強化を図るとともに、今まで以上に議会の活性化に取り組んで参る所存でございます。

市民の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、新しいこの一年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。